

如きは餘技に止るが、しかも流暢にして風韻に富んだものである。

ランゲイ 鸞藝 ↓ドンエン 頓園。

ランコウ 蘭更 ↓タカクハラコウ 高桑蘭更。

ランコウホツクシユウ 蘭更發句集 一冊。

金澤の俳人雪袋の手記したもので、題林發句集その他三十三種の書から、蘭更の句を集めたものである。

ランザンシキ 蘭山私記 加藤惟寅著。日記五十二冊、附録十一冊、記事十一冊、開書五冊、雜記七冊、拔萃八冊、合計百四冊から成り、その日記は延享二年四月から安永三年六月に至るものである。但し延享二年乃至寶曆四年は今缺本となつてゐる。

ランシユウコウガイ 蘭秀香外 金澤曹洞宗寶園寺三十二代の住持。生國は安藝。天保九年九月越前府中龍泉寺より進山、弘化三年五月廿三日現住中遷化した。

リ

リカ 李下 ↓イツミヤリカ 和泉屋李下。

リキヨマンソウ 力餘漫草 三冊。村井氏に仕へた儒河合良温の詩文集である。上編は詩、中下編は文。天保三年村井長道の序があり、後序は文政庚寅良温の男儀兵衛萬の撰する所である。

リシ 利子 加賀藩の初期では、一般の貸借に利子の制限がなかつたが、寛永十四年から一ヶ月一步七厘と公定した。これは此の年

藩の百姓に對する敷貸米に、年二割の利子を附することに定めたことから割出したものである。藩末では十年間で元本が倍額になると記されたものがあるから、年利七分五厘内外であつたかと思はれる。

リシヨウイン 理詮院 宇喜多秀家の女で、前田利長に養はれたもの、法號。詳しくは理松院壽貞大禪定尼。

リシヨウイン 理詮院 金澤野田寺町に在つて、眞言宗に屬してゐた。山號は法雲山。萬治元年前田利常から屋敷を賜はり、諏訪大明神を奉祀してその別當であつたが、明治元年神佛混淆禁止の後諏訪神社となつた。

リシヨウウジ 理正寺 金澤野町に在つて、眞宗東派に屬する。明治中から寺號を公稱した。

リシヨウトウ 利生塔 利生塔は安國寺と共に、足利尊氏が國別に建立せしめた塔婆である。而して加賀の利用塔に就いては全然不明であるが、能登のものは詳かに知られてゐる。即ち延元四年(曆應二)十月十三日光嚴院の院宣により、鹿島郡永光寺をして利生塔を建立せしめ給ひ、翌年正月一日直義は佛舍利を納め、三月六日尊氏は同國若部保の地頭職を寄せて塔婆料に宛てしめ、能登の守護吉見頼隆も亦六月十七日佛舍利一粒を納めた。若部保は先に元弘三年四月一日護良親王の令旨により、祈禱の恩賞として永光寺に宛行はれた所である。次いで興國二年(曆應四)十二月國衛の令により若部保の殺生を禁断し、正平元年(貞和二)八月二日には尊氏から敵徒退治を永光寺に祈らしめた。

リシヨウウエイシヨキ 里正由緒記 ↓カノ

ウエツリシヨウウエイシヨキ 加能越里正由緒記。

リジンシユウ 理塵集 三冊。田地の古法、國郡田畠町數、改作之起、知行免之事、定納口米草高之事等、凡そ加賀藩の田制租制に關する一切を記する。

リセイ 履靜 河北郡八田眞宗東派法圓寺十五代の住持。寛政五年生。法名慧周、乘力坊と稱し、龍湖と號し、宗學を圓乘院に學んで、文政五年寮司に任ぜられた。翌六年十一月十三日示寂、享年六十七。

リツキヨクアンリヨウ 栗棘庵領 鳳至郡志津良庄に、東福寺塔頭栗棘庵領のあつたこととは、陸涼軒日録寛正二年八月十六日の條にも見え、天文二十年七月廿五日の温井備中入道紹春等の執達状もある。能登志徴に、陸涼軒日録長祿二年卯月八日の條に、『栗棘庵御成、煎點。畠山修理大夫殿以爲權那故御相伴被參。蓋舊例也。』とあるに依つて、畠山氏が栗棘庵の權那であつたことが知られるから、その關係で志津良庄のうちを寄進したものであらうとしてゐる。

リツケンジヨウ 立券狀 ↓ノトノクニク マキシヨウリツケンジヨウ 能登國熊木庄立券狀。

リツサイイコウ 立齋遺稿 二冊。金澤の市人錢田青の詩集である。天保辛丑春二月藤陳人の序が附され、同年上梓した

リツシヨウジ 立正寺 ↓ホンコウジ 本光寺(金澤)。

リトウ 李東 ↓コンドウリトウ 近藤李東。

リトウ 里冬 ↓イツミヤリトウ 和泉屋

里冬。リヒヤクリマル 李百里丸 加賀藩の汽船。西洋千八百六十二年打立。原名サーハリパルタ。鐵製長さ三十四間幅五間。馬力百十。噸數五百。慶應元年十月長崎に於いて購入した。

リホウ 里鮎 ↓カナヅヤリホウ 金津屋里鮎。

リュウ 龍 鳳至郡山田郷に屬する部落。龍明神社があつたが、邑名に據つた神名か、神名に據つた邑名かは考ふべきである。明治八年十月龍坂尻下代三部落を併合して鮭尾とした。

リュウインケン 柳陰軒 金澤の俳人句空の庵室で、柳陰庵ともいうた。この軒號は、後に思一が繼いで柳陰舎といひ、淇亭之を受けたが、尋いで句空庵に改め、雪袋また句空庵を稱した。

リュウウンジ 龍雲寺 金澤笹ヶ町に在つて、本源山と號し、曹洞宗に屬する。鳳至郡總持寺内芳春院の大昌文意を開山として、寛文元年石川郡御供田の農士谷勘四郎が創建したものである。

リュウエンジ 龍淵寺 金澤六斗林に在つて、曹洞宗に屬する。山號は靈松山。開基を徳岩文堯といひ、初め小松玉龍寺に住したが、隱居の後金澤に出で、寛永五年前田長種等の周旋により、犀川河原に寺地を得て伽藍を起し、正保二年泉野なる今の所に移轉を命ぜられた。塔頭榮岩寺は同三年當寺三代長達之建立する所であつたが、今は存せぬ。

リュウエンジ 立圓寺 金澤卯辰に在つて、光明山と號し、日蓮宗に屬した。慶長七年圓

光